

第3学年 保健体育科課題 (5/19～)

学習プリント (教科書 P140～143)

●保健・医療機関の利用

○健康を守るために利用できる機関

私たちの周りには、保健・医療機関とよばれているところがあり、そこには、それぞれの役割があります。私たちは病気の()や治療、()のために保健・医療機関を有効に利用することができます。

○医療機関の利用

私たちが利用できる医療機関は、()や()によって、役割分担をしています。①住まいの近くにある診療所、クリニック、医院などは、地域の人々の診療や健康相談を行っており、()となっている場合もあります。一方、総合病院や()などの大きな病院は、専門的な治療や手術、()などが必要な患者を担当しています。それぞれの役割を十分理解せずに利用すると、診療までに長時間待ったり、()の負担が増えたりしてしまいます。

○保健機関の利用

医療機関以外に、地域の()や()などの保健機関は、私たちの健康を保持増進したり、病気を予防したりするための役割を担っています。例えば、市町村などが運営している保健センターは、乳幼児に対する健康診査、()、発達相談などを行っており、子どもの健康管理にとって不可欠な機関です。また、②都道府県などが運営する保健所は、食中毒や()などに対応し、健康被害の拡大や()を防止しています。

●医薬品の利用

○医薬品の働き

医薬品の()とは、病気の治療や予防などに効果的な作用(効き目)のことで、本来の使用目的です。しかし、医薬品は、本来の目的とは異なる好ましくない作用も併せもっています。これを医薬品の()といいます。()は医薬品の性質、使用する人の体質や病気の状態、()などにより現れることがあります。

○医薬品の使用方法

医薬品には、主作用が働いて副作用がなるべく現れないように、③1日あたりの()や使用時間帯、使用量、使用方法などが決められています。病院などでは、一人一人のその時の状態や()に合わせて処方されるため、ほかの人が使用したり、残ったものを後で使用したりすると、健康に対して深刻な影響を与えることがあります。また、医薬品には薬局やコンビニエンスストアなどで購入できる物もたくさんあります。

どのような医薬品であっても、効果的に使用するためには、医師や()の指示に従い、()や説明書をきちんと読んで、正しく使用することが必要です。

*下線部①について、自分のかかりつけ医の確認をしてみましょう。

病院(診療所)名	
家からの距離	徒歩・自転車・車・その他() 分

*下線部②について、保健所の役割について調べてまとめてみましょう(コロナウイルスで担当している業務も記入すること)。

--

*下線部③について、薬の飲み方の表を記入しましょう。

食後	()	食前
食後()分以内	食後 2 時間程度	食前()分

3年()組()番 名前: _____